

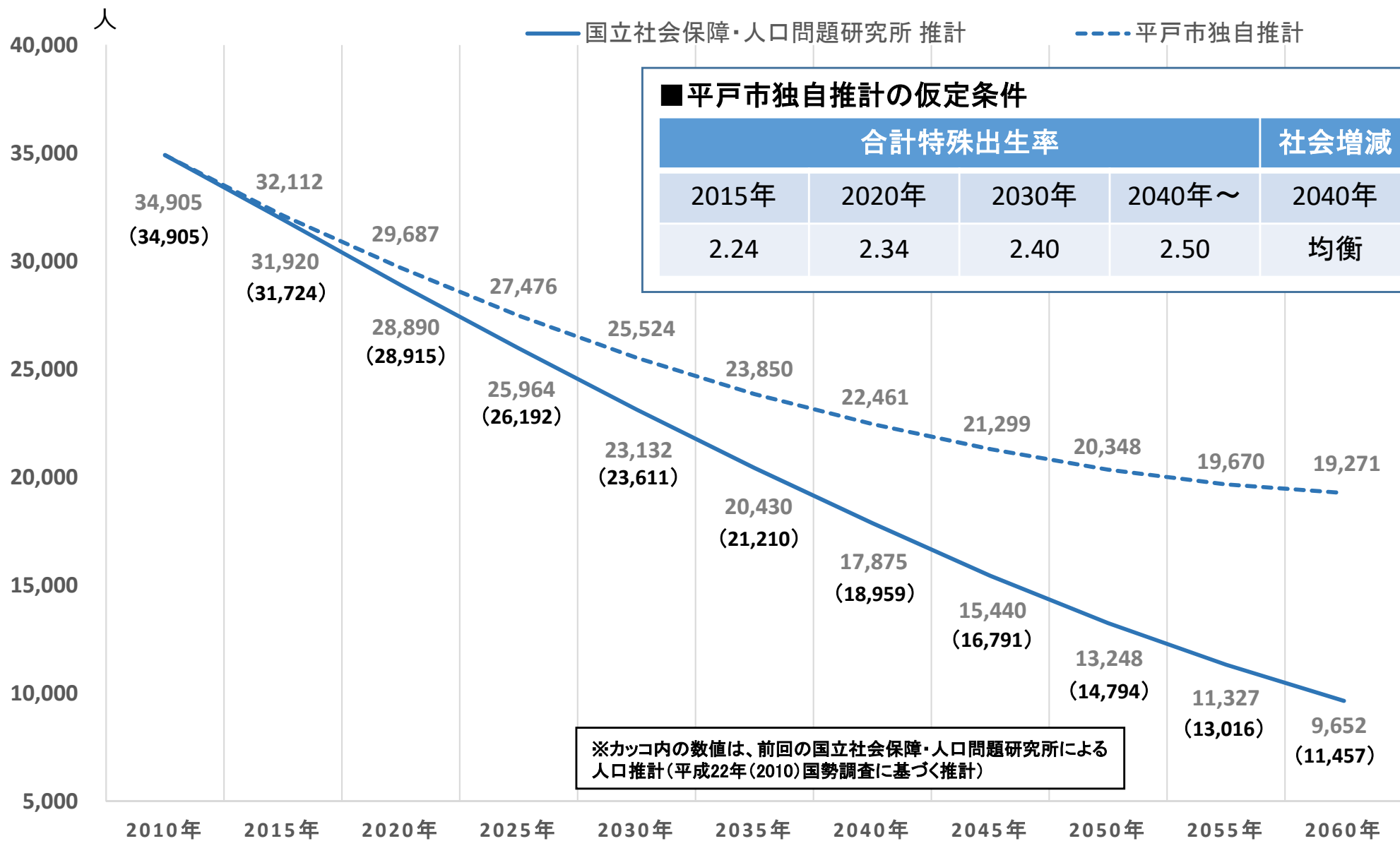
平戸市総合戦略について



【平戸市総合戦略とは】

- 人口減少に歯止めをかけることを目的に、集中的かつ戦略的に施策を実施していくための指針です。
- 平成27年度末に策定した「平戸市人口ビジョン」を踏まえ、具体的な基本目標や施策をまとめています。
- 数値目標やKPIを定め、施策の進捗を確認するとともに施策の評価・検証を実施します。

本市の人口推計（平戸市人口ビジョン 総人口の将来展望）



人口ビジョン目標

平戸市総人口
約20,000人 (2060年)

国立社会保障人口問題研究所の推計人口(9,652人)より、約10,300人の人口増を目指す。

第1期平戸市総合戦略の評価検証、平戸市未来創造羅針盤(第2次平戸市総合計画)に掲げた施策、総合戦略推進委員会での意見等を踏まえ、人口減少抑制に努め、持続可能な地域社会の形成を目指すため、以下の4つの基本目標を設定して施策を展開します。

基本目標1 雇用の促進
～しごとをふやすプロジェクト～

基本目標2 産業の振興
～しごとをのばすプロジェクト～

基本目標3 子育て支援
～ひとをそだてるプロジェクト～

基本目標4 定住・移住の促進
～まちをつくるプロジェクト～

第2期平戸市総合戦略体系図(令和2～6年度 5年間)

基本目標(◆数値目標)

◆新規 ◇継続

雇用の促進 ～しごとをふやすプロジェクト～

本市の特色を活かした新たな産業による雇用の促進

◆市内事業所の従業者数

産業の振興 ～しごとをのばすプロジェクト～

地域資源を活用した賑わいのある魅力的な産業の振興

◇主要農林畜産物販売額 ※旧KPI

◇水産物販売事業総取扱高 ※旧KPI

◆観光消費額

子育て支援 ～ひとをそだてるプロジェクト～

子どもを産み、育てやすい環境の更なる充実

◇合計特殊出生率

◇20歳から49歳までの社会増減数

◆学校教育活動に対する評価

定住・移住の促進 ～まちをつくるプロジェクト～

まちの活気を取り戻すための若者定住・移住促進対策

◇社会増減数

◇市外からの移住世帯数

重要業績評価指標(■KPI)

■新規 □継続

□ハローワークを通じた新規就職者数 ※旧数値目標

■企業立地数

■市内の求職者数

□年間創業者数

□新規就農者数

■繁殖雌牛の平均飼養頭数

□沿岸漁業における新規就業者数

■地域計画にかかる事業申請件数

□観光入込客数 ※旧数値目標

□年間宿泊客数

□年間外国人宿泊客数

■新商品開発数

■平戸産品取扱店舗数

■市内高校への進学率

■未来技術にかかる研修参加者数

■平戸市で子育てをしたいと思う親の割合

■地域子育て支援拠点事業の利用者数

□全国学力・学習状況調査結果

■英検3級相当以上の英語力を有する中学3年生の割合

□空き家バンク登録数

□移住相談件数

■まちづくり運営協議会に対する支援回数

□これからも平戸市に住みたいと思う人の割合 ※旧数値目標

主な施策

●新規 ○継続

ア) 就労機会の拡大

○若者やUIターン者等の就労支援 ○企業誘致による雇用創出

イ) 就労環境の整備

○働きやすい環境づくりの推進 ○男女共同参画推進

ウ) 新たなビジネスの創造

○新商品開発の支援 ●地域課題解決による産業創出

ア) 農林業の振興

○新規就農者の確保育成 ○生産者の経営安定と所得向上対策

イ) 水産業の振興

○漁業担い手の確保及び定着促進
●鮮度保持技術及び衛生管理体制の強化による高付加価値化

ウ) 観光の振興

●平戸版DMOへの支援 ○外国人観光客の受入整備
●市内全域への観光客の回遊及び交流人口の拡大

エ) 地域ブランドの推進

○平戸産品の取引拡大 ○新たなビジネスチャンスの場の創出

オ) 持続可能な地域経済の確立

●産業人材の確保 ●事業承継への支援 ●未来技術導入の推進
●産業の維持・振興のための道路の一体的整備

ア) 妊娠・出産・育児への切れ目ない支援

○多様化する保育ニーズへの対応 ○相談支援体制の充実
○子ども・子育て支援のトータルコーディネート

イ) 教育環境の整備

○ICT・英語教育による学校教育の充実
○地域と連携した体験活動の充実

○教育や就学の悩み解消のための相談支援体制の整備推進

ア) 移住の受入推進

○移住受入体制の整備 ○空き家バンク制度の周知
○移住相談体制の充実

イ) 魅力あるまちづくり

○協働による持続可能な集落形成 ○地域包括ケアシステム構築
●シティプロモーションの推進
●郷土愛醸成による定住・移住の促進

数値目標

○4つの基本目標ごとに、総合戦略の目標年度である令和6年度において実現すべき成果（アウトカム）として設定しています。

KPI(重要業績評価指数)

○基本目標を達成するために具体的な施策を行うにあたり、それぞれの施策の進捗状況を検証するために設定している指標です。

○「平戸市総合戦略」では、方策ごとにKPIを設定しており、複数の事業によりKPIを達成する、というつくりになっています。

○総合戦略推進委員会において、「どこまで進んでいるのか」、「その道筋は正しいのか」、「達成に向け、新たな仕組みは必要ないのか」などを確認いただくこととなります。

PDCAサイクル

○計画や事業などについて、検証・改善を図るための仕組みのことです。

○本推進委員会では、「総合戦略が着実に実行されているのか」、「KPIの達成は可能か」などについて検証・評価いただき、施策や事業の磨き上げにつなげていきます。

○「平戸市総合戦略」については、PDCAサイクルによる検証・評価などにより、必要に応じて改定が可能です。



事業評価シートの見方

事業評価シート										
事業名	地場企業就職促進事業					担当課	商工物産課			
予算科目	7 款	1 項	2 目	総合計画施策体系	1	1	3	2	実施年度	平成30年度～
事業費（千円）		平成29年度決算	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算			
事業費			1,695	987	397	2,520	1,075			
国県支出金			813	462	195	1,254	537			
地方債										
その他			882	525	202	1,266	445			
一般財源							93			

事業の目的及び内容（PLAN）	
【事業目的】	市内の高校生や若年層等へ市内企業を知ってもらう機会を提供し、本市内にも優良な企業や雇用の場があることを理解してもらうことで、人材確保や地元就職を促進し若年層の市外流出に歯止めをかけるとともに、地場企業の人材確保を目的とする。
【事業内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・一般、Uターン者等を対象とした合同企業面談会の開催 ・市内高校2年生を対象とした企業見学バスツアーの実施 ・市内高校2、3年生及び保護者を対象とした地元企業合同説明会の開催 ・企業ガイドブック制作（改訂版） 1,000部

事業の実施状況（DO）	
1. 合同企業面談会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
2. 企業見学バスツアー	10/28 平戸高校3年生 参加者：21名（生徒19名、引率教諭2名）参加企業：4社 11/17 北松農業高校2年生 参加者：58名（生徒52名、引率教諭6名）参加企業：4社
3. 地元企業合同説明会	6/21 平戸高校3年生 参加者：21名、参加企業：19社 12/22 北松農業高校2年生 参加者：48名、参加企業：16社

事業実施による成果（CHECK）							
新型コロナウイルス感染症が拡大する中において、地元高校と調整し新型コロナウイルス感染症防止対策を行い地元企業合同説明会及び企業見学バスツアーを実施し、これをきっかけに地元で就職した生徒がいたことから若者の定住に寄与することができた。							
本事業の数値的成果	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	年度/積上
① 合同企業面談会参加者	人		21	23	0	0	年度
② 企業見学バスツアー参加者	人		111	105	24	79	年度
③ 地元企業合同説明会参加者	人		144	125	92	69	年度

事業の改善（ACTION）	
事業実施に係る課題及び改善点	企業見学バスツアーや地元企業合同説明会は市内県立高校を対象としていたが、市外高校にも本市から通学している高校生がいるため対象を拡大し、より市内企業の魅力を伝え、認知度向上に取り組んでいく必要がある。加えて早い段階から地元企業を知ってもらうため、全学年生徒を対象にし地元就業の増加を目指す。 また、ホテル業界の参加ができる体制づくりを推進するため、オンラインでの実施なども検討する必要がある。
今後の方針	G A拡大 B縮小 C統合 D廃止・休止 E事業完了 F改善・見直し G継続

事業名及び事業の決算額・予算額を年度毎に記載しています。

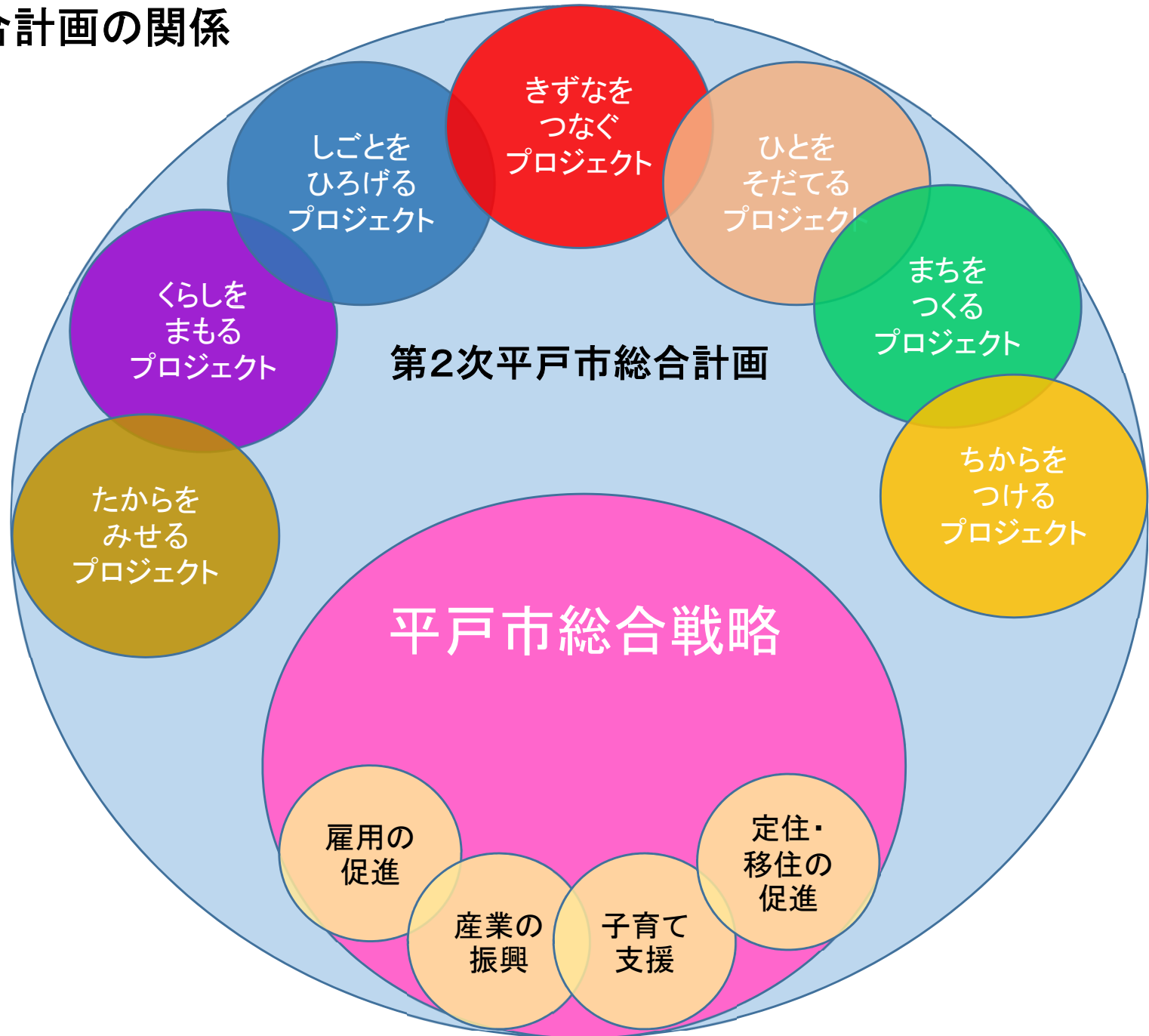
事業の目的及び事業内容の概略について記載しています。

令和3年度の事業の実施状況について記載しています。

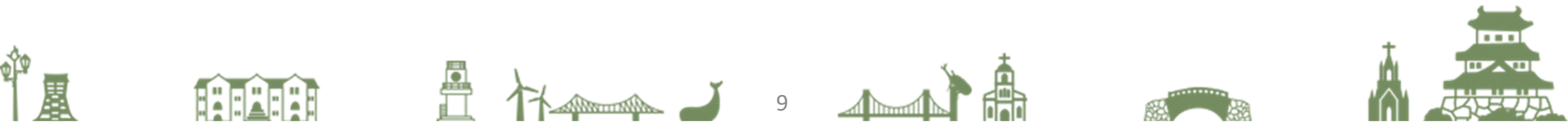
事業実施による効果・評価について、事業担当課が記載しています。
また、事業実施に伴う数値的成果を記載しています。

事業実施状況を踏まえ、担当課が考える課題及び改善点を記載し、事業展開の今後の方針を記載しています。

総合戦略と総合計画の関係

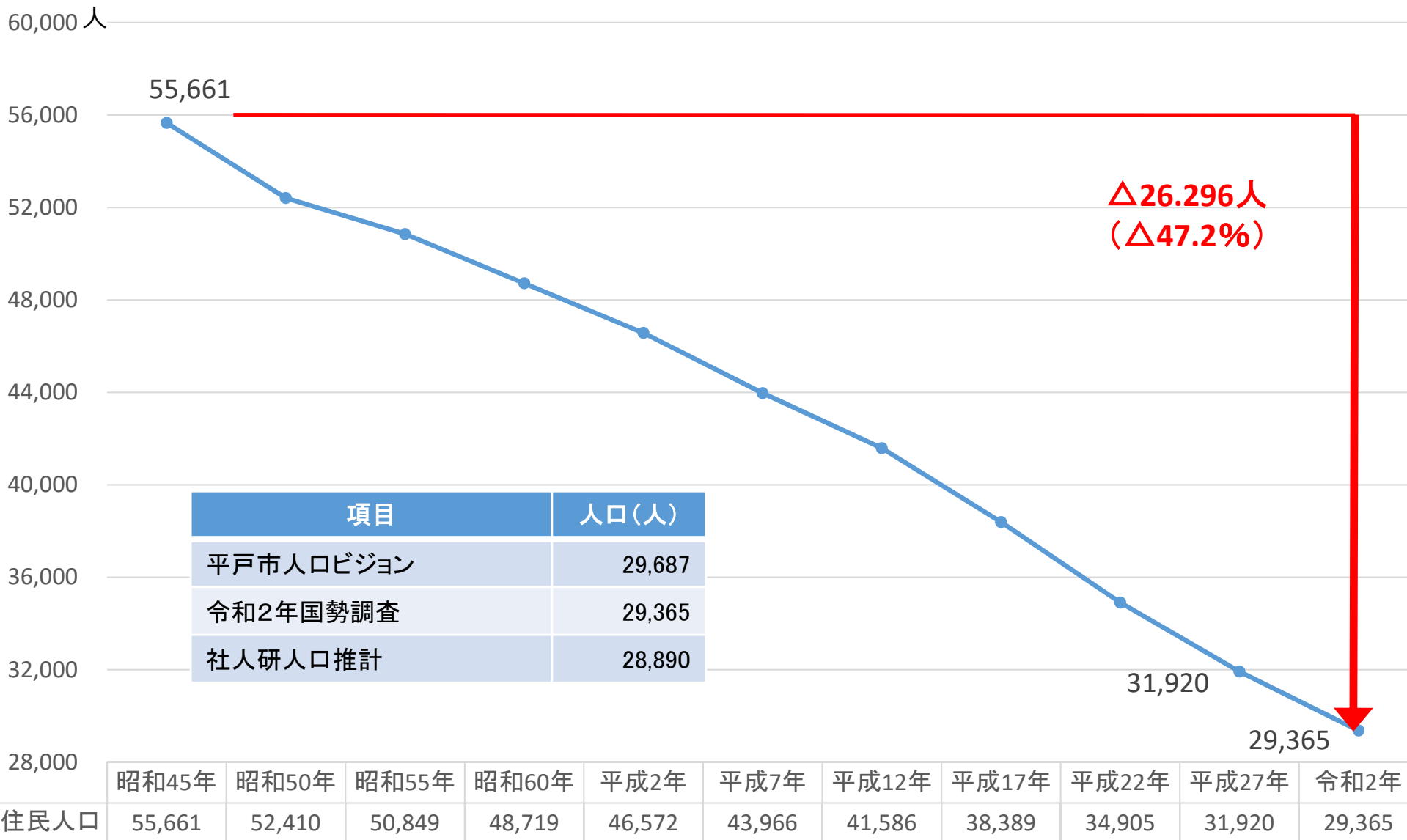


本市の人口動態について



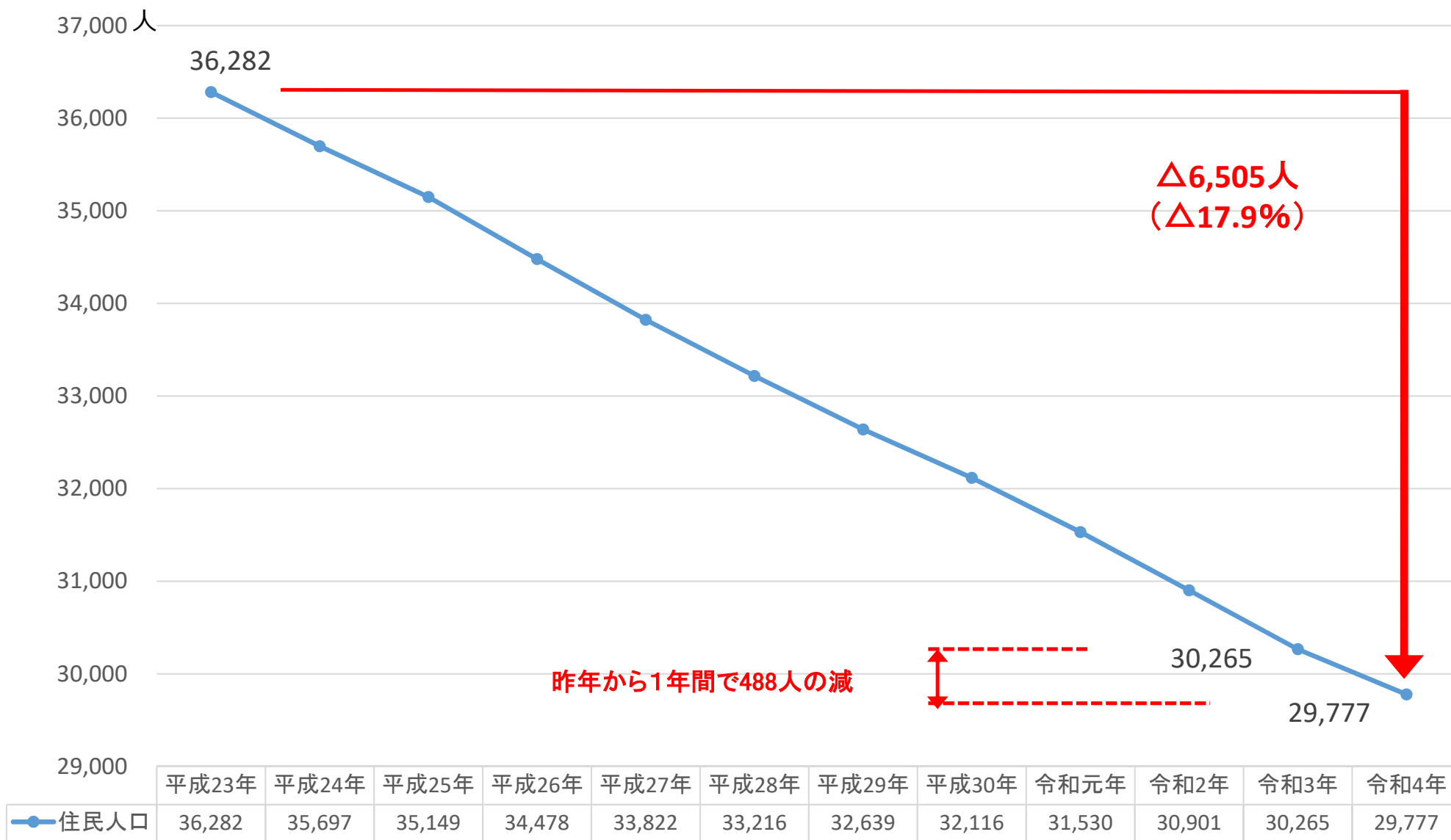
本市の人口の推移（国勢調査ベース）

基準日：10月1日



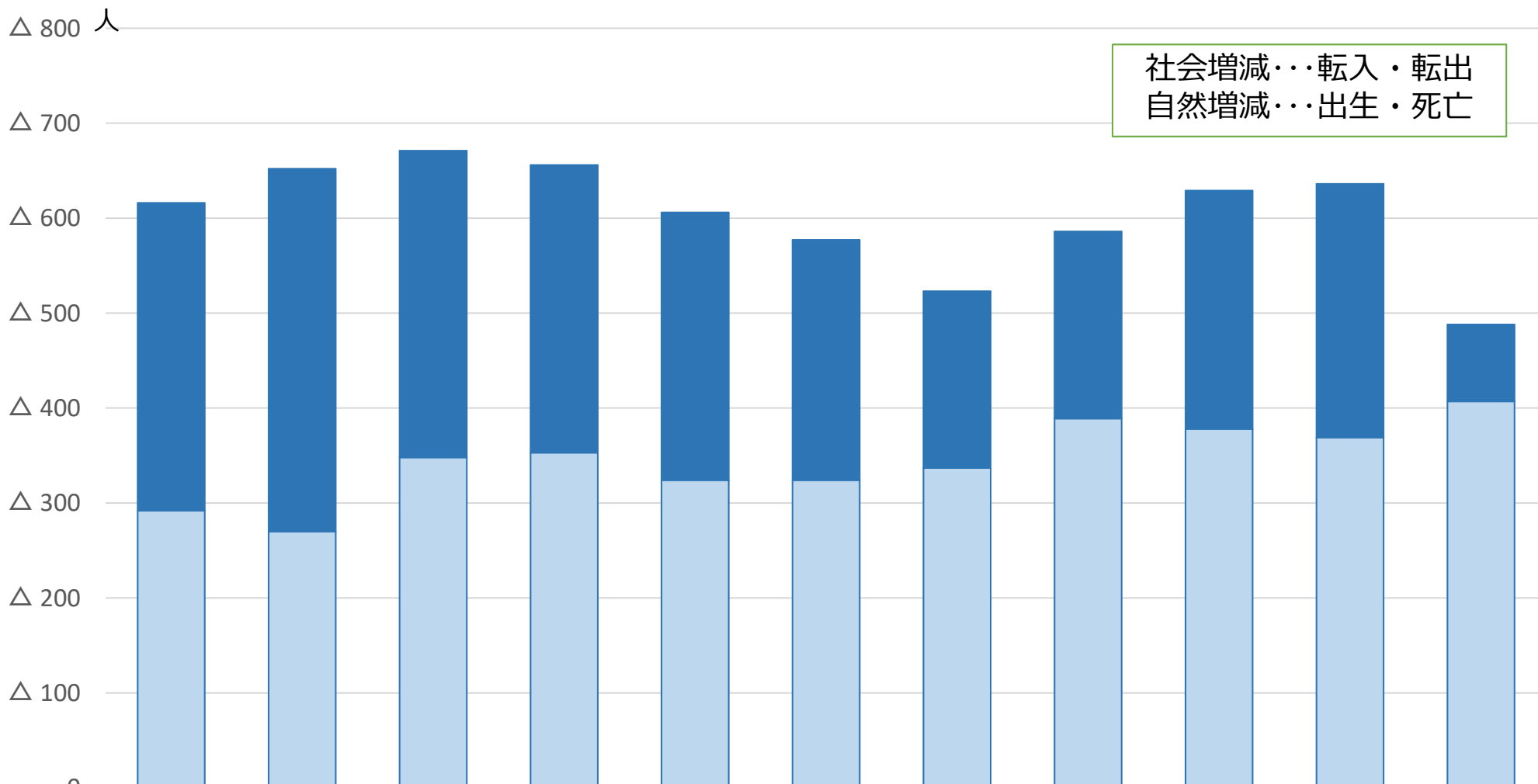
本市の人口の推移（住民基本台帳ベース）

基準日：1月1日



人口動態（社会増減及び自然増減）

集計期間：1月1日～12月31日



	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
■ 社会増減	△ 324	△ 382	△ 323	△ 303	△ 282	△ 253	△ 186	△ 197	△ 251	△ 267	△ 81
■ 自然増減	△ 292	△ 270	△ 348	△ 353	△ 324	△ 324	△ 337	△ 389	△ 378	△ 369	△ 407

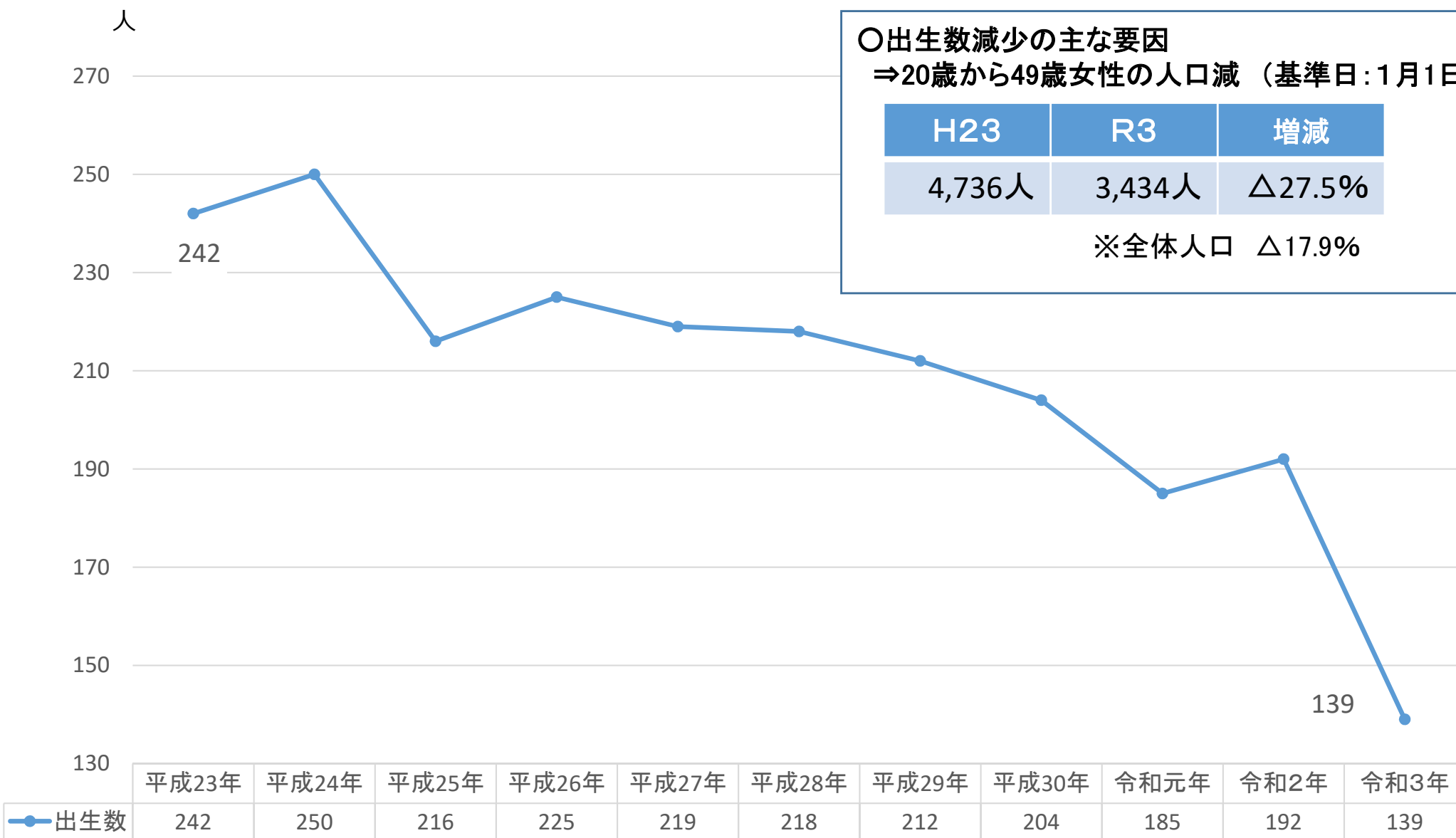
出生数の推移

集計期間：1月1日～12月31日

○出生数減少の主な要因
⇒20歳から49歳女性の人口減（基準日：1月1日）

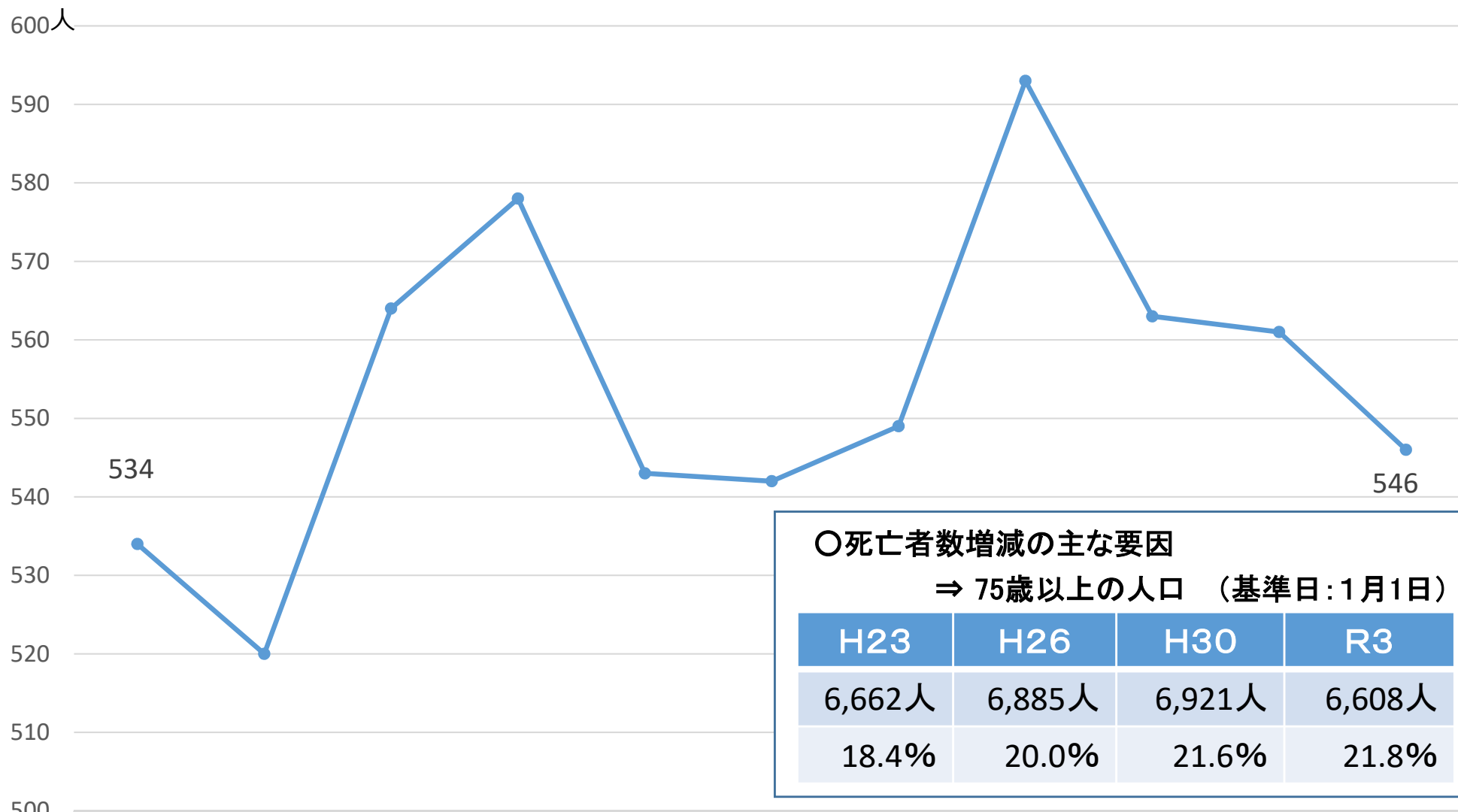
H23	R3	増減
4,736人	3,434人	△27.5%

※全体人口 △17.9%



死亡者数の推移

集計期間：1月1日～12月31日



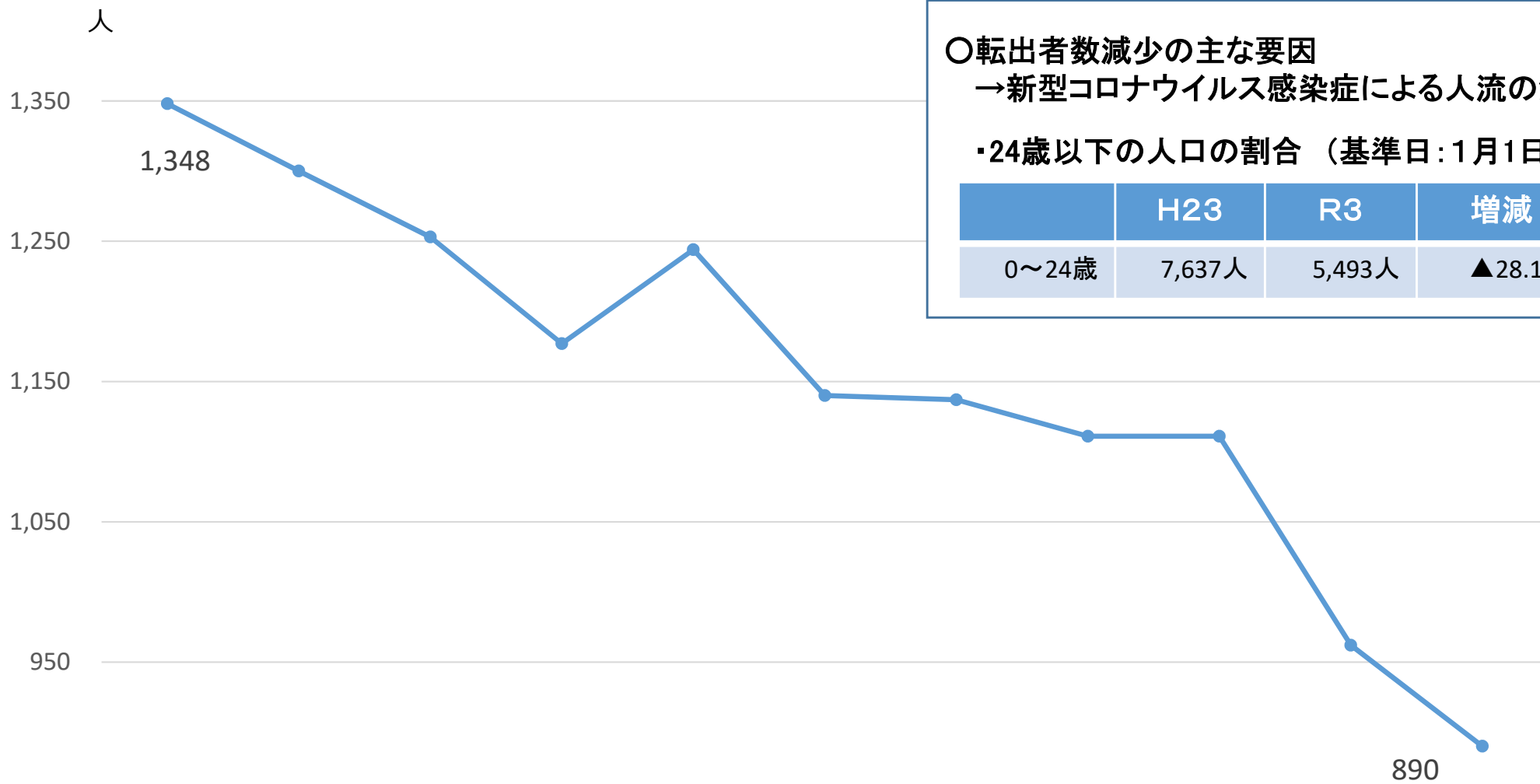
○死亡者数増減の主な要因
⇒ 75歳以上の人口（基準日：1月1日）

H23	H26	H30	R3
6,662人	6,885人	6,921人	6,608人
18.4%	20.0%	21.6%	21.8%

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
●死亡数	534	520	564	578	543	542	549	593	563	561	546

転出者数の推移

集計期間：1月1日～12月31日



○転出者数減少の主な要因
 →新型コロナウイルス感染症による人流の鈍化

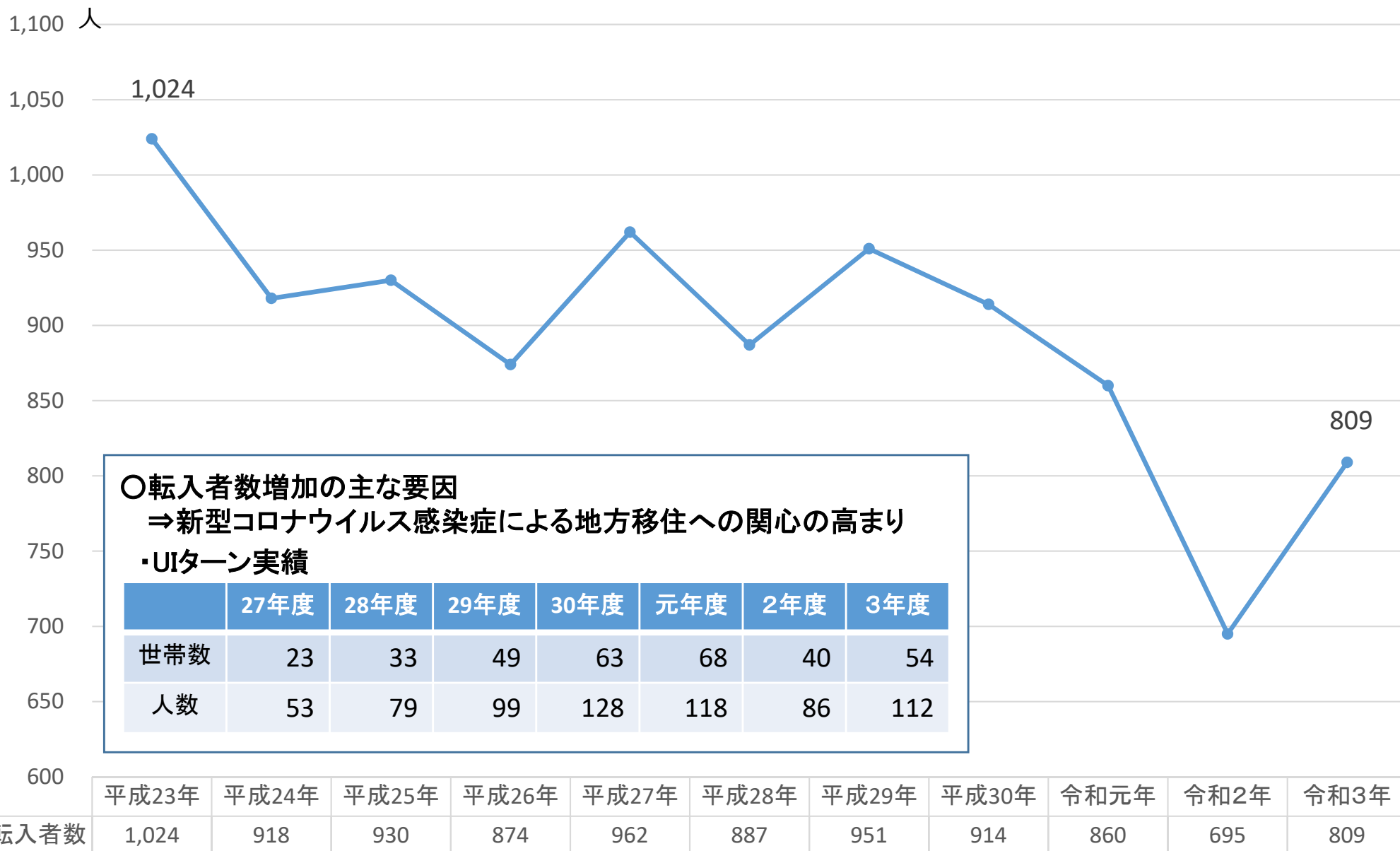
・24歳以下の人口の割合（基準日：1月1日）

	H23	R3	増減
0～24歳	7,637人	5,493人	▲28.1%

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
●転出者数	1,348	1,300	1,253	1,177	1,244	1,140	1,137	1,111	1,111	962	890

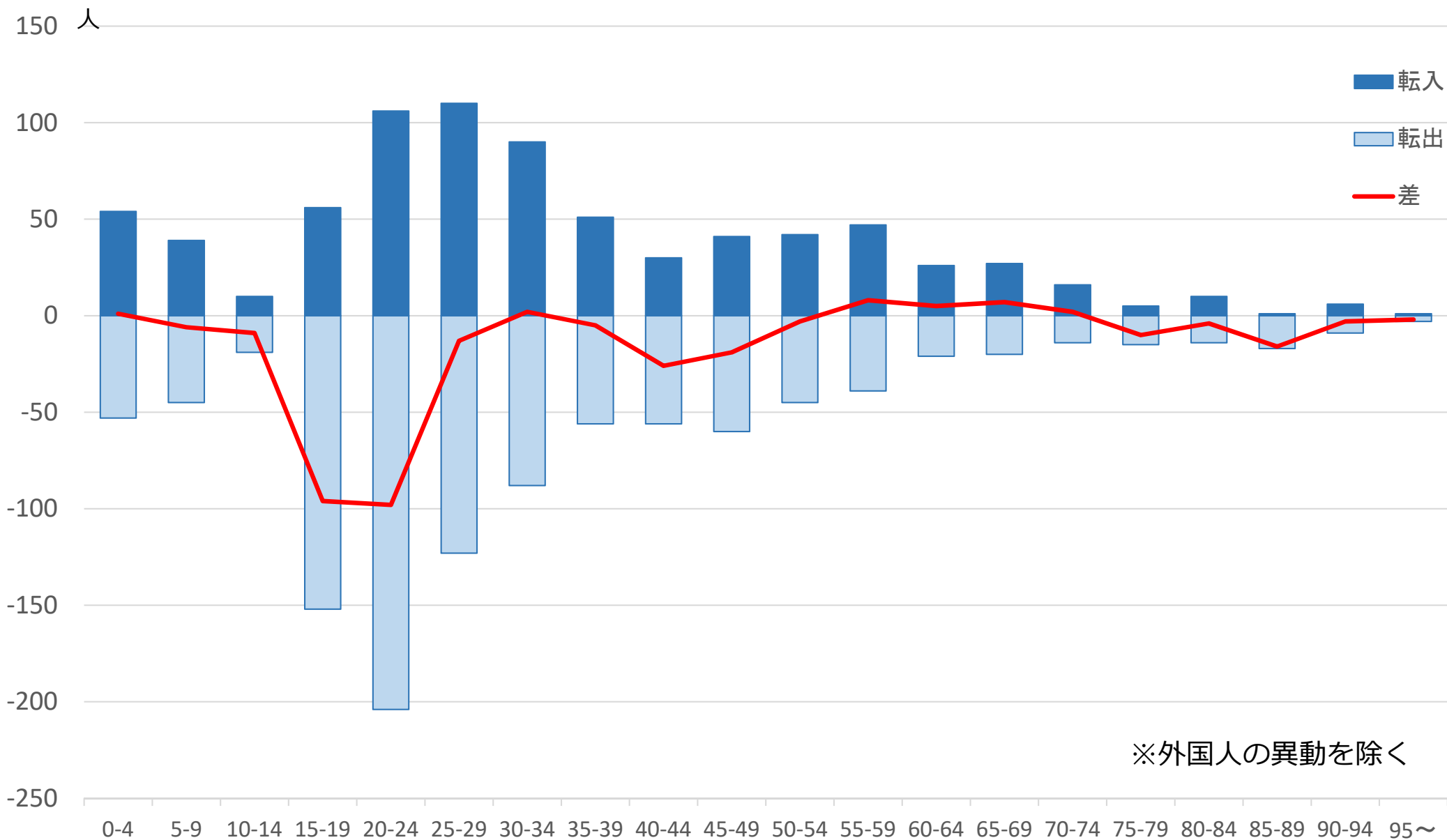
転入者数の推移

集計期間：1月1日～12月31日



令和元年 年齢別転入転出人口

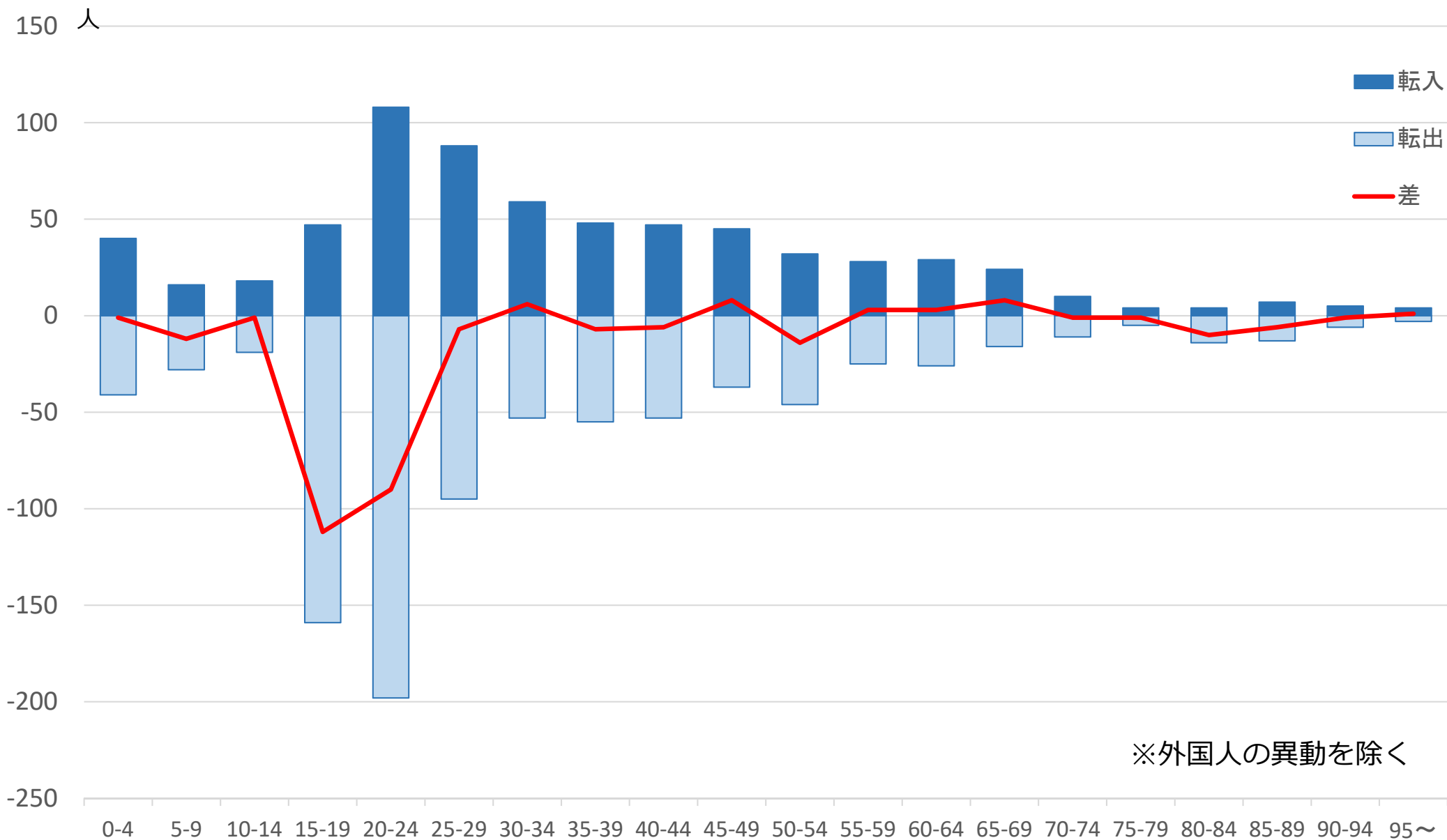
集計期間：平成31年1月1日～令和1年12月31日



※外国人の異動を除く

令和2年 年齢別転入転出人口

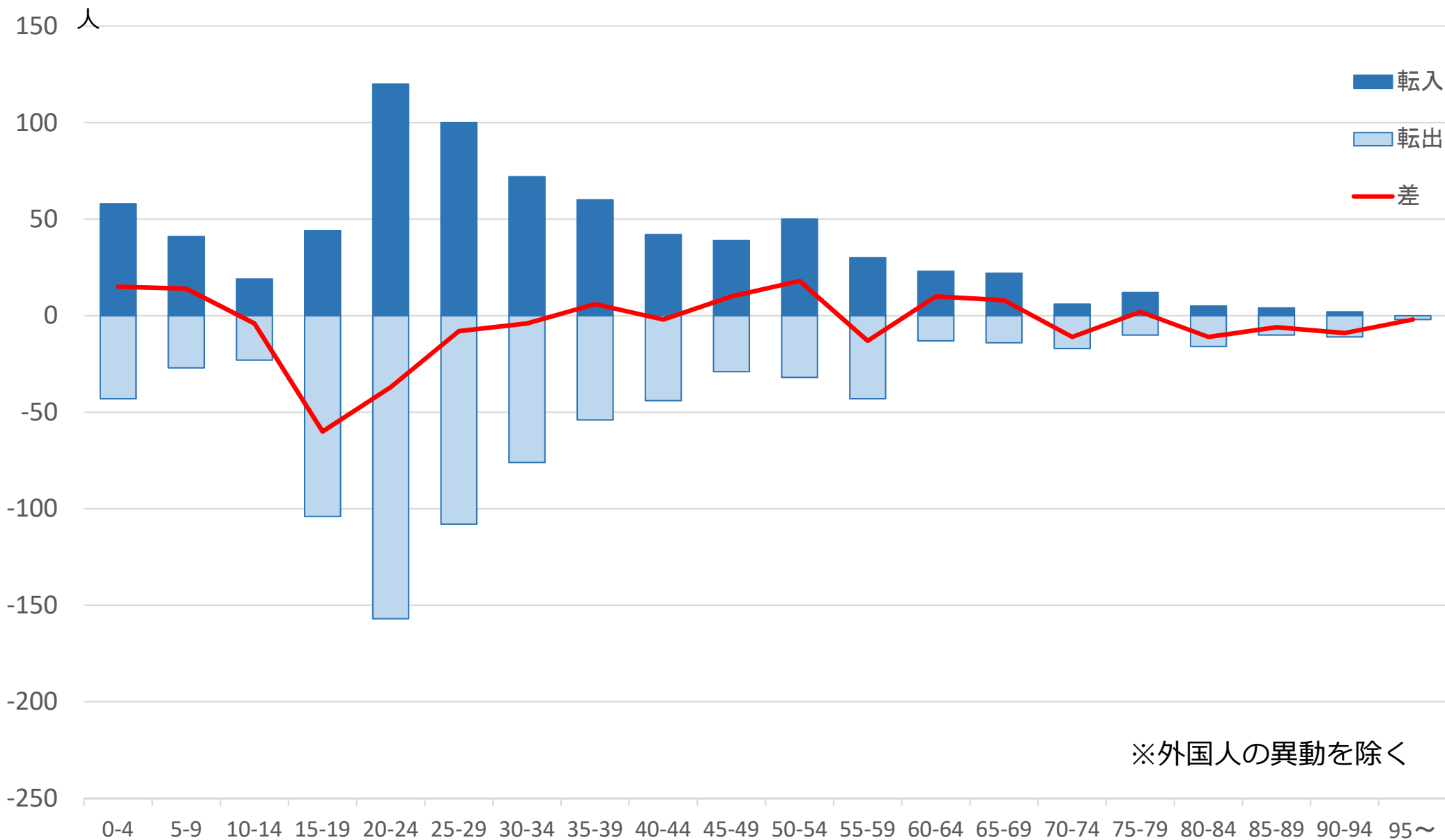
集計期間：令和2年1月1日～令和2年12月31日



※外国人の異動を除く

令和3年 年齢別転入転出人口

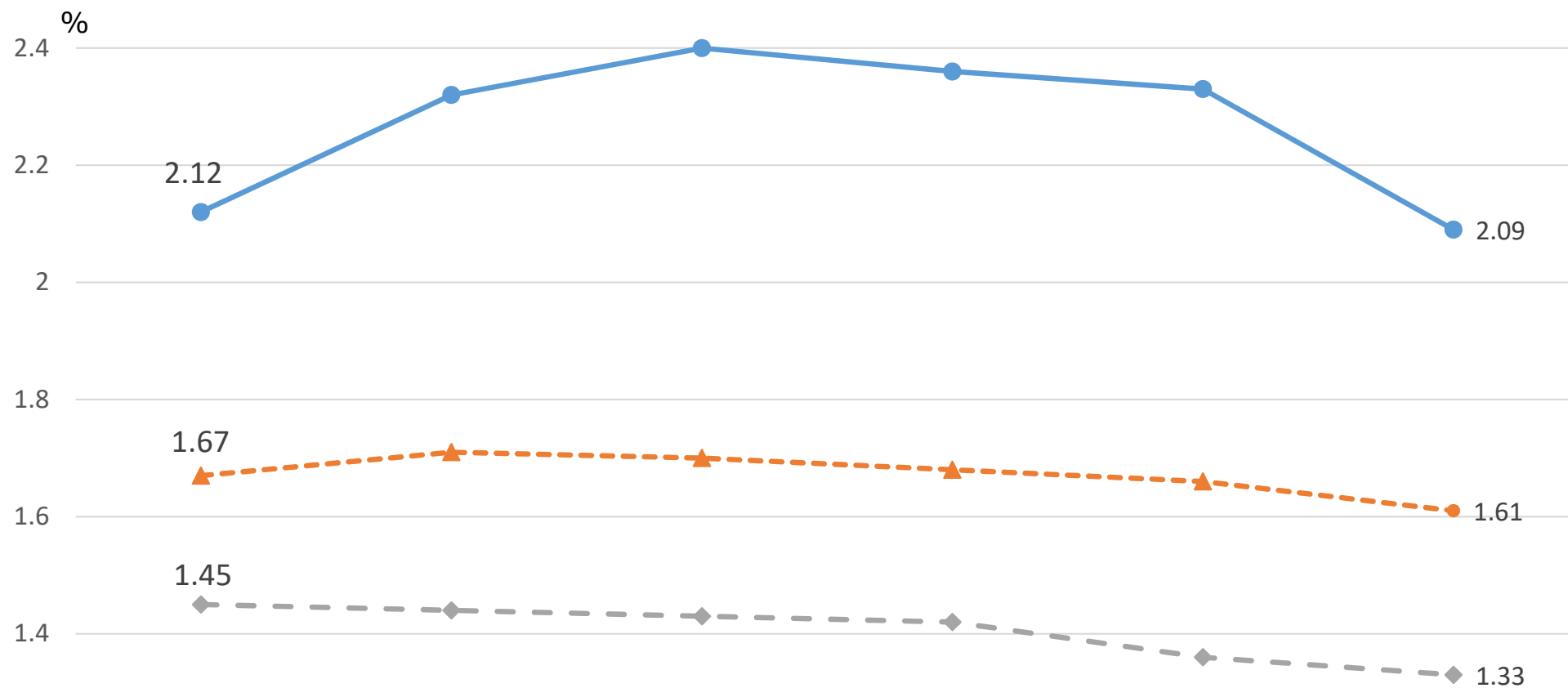
集計期間：令和3年1月1日～令和3年12月31日



※外国人の異動を除く

合計特殊出生率の推移（平戸市・長崎県・全国比較）

※長崎県衛生統計年報



	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
● 平戸市	2.12	2.32	2.40	2.36	2.33	2.09
▲ 長崎県	1.67	1.71	1.70	1.68	1.66	1.61
◆ 全国	1.45	1.44	1.43	1.42	1.36	1.33

令和2年 合計特殊出生率（県内市町比較）

※長崎県衛生統計年報

